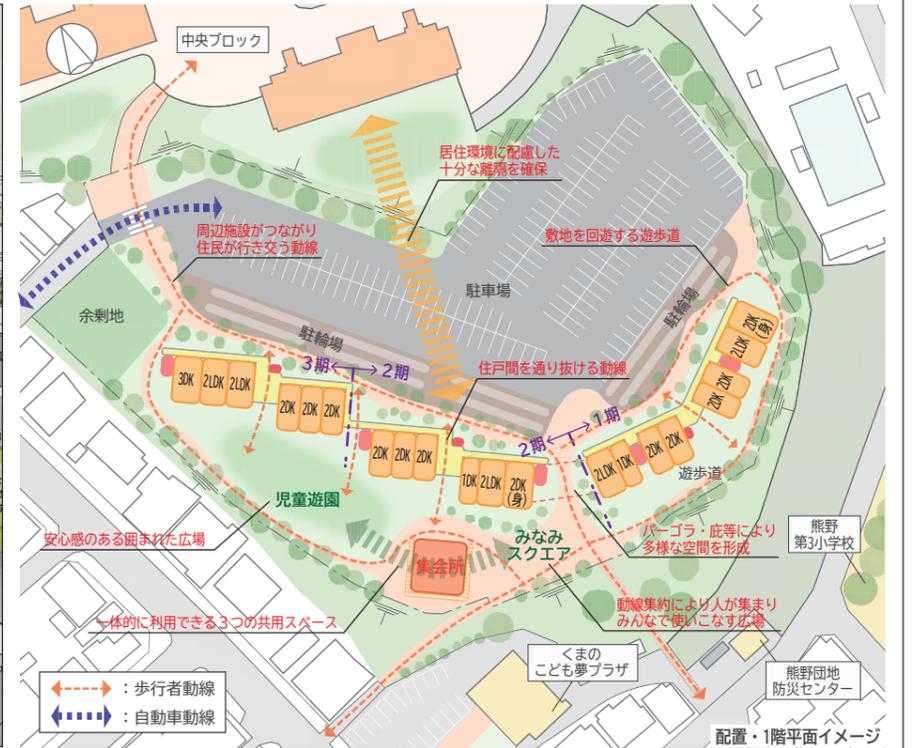


様式11 評価テーマに対する提案

「(テーマ1) 持続可能な団地コミュニティの形成」, 「(テーマ2) 実現性の高いコストの削減策」及び「(テーマ3) 地域のまちなみに調和した景観形成」についての提案



テーマ① 「持続可能な団地コミュニティの形成」について

テーマ② 「実現性の高いコストの削減策」について

テーマ③ 「地域のまちなみに調和した景観形成」について

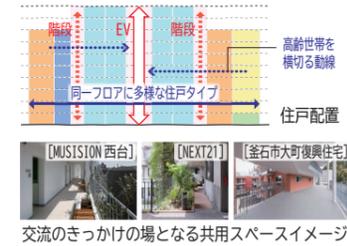
使いこなされる居場所づくり

■人々が集い、出会う場所

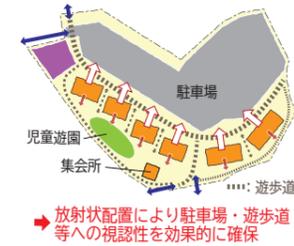
○人の流れをコントロール | 多様なアクセス経路を活用した人が集まる動線づくり



○きっかけを生み出す共用空間 | 廊下やEVホール・屋外スペース等を交流のきっかけの場として位置づけ



○見守りによる安心感 | シンプルな配置計画が死角をなくし安心感を醸成

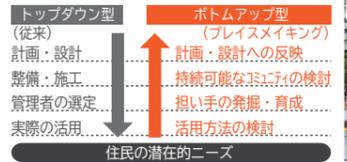


■プレイスメイキングによるコミュニティデザイン

プレイスメイキング: 居心地の良い空間がアクティビティを創出し団地の価値を向上

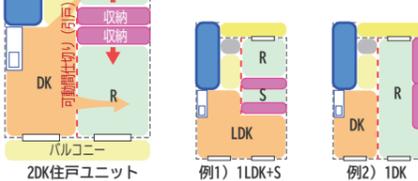


○ボトムアップ型の手法 | 住民の潜在的ニーズを把握し、使い方を想定・実践した上で居場所づくりに繋げるボトムアップ型のプレイスメイキングを実施

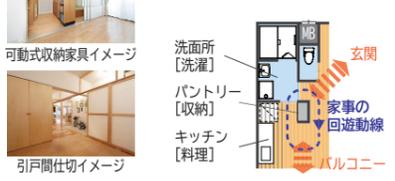


■フレキシブルに使いこなす住戸ユニット

○自由な間取りの住戸 | 可動式収納家具と引戸間仕切で容易に間取り変更が可能



○家事動線への配慮 | 水廻り諸室の集約と回遊動線による家事の省力化



○生活感の溢れ出し | アルコーブ側窓を利用した生活感溢れる住戸の形成

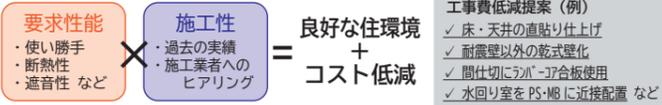


住民目線に立ったライフサイクルコストの低減

■“要求性能 × 施工性”の視点

イニシャルコストの低減

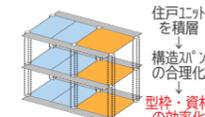
○材料・工法の選定 | 施工性に配慮し経費増大を防止



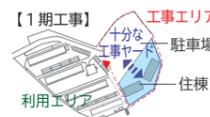
○掘削残土の活用 | 残土は盛土等に活用し搬出量を低減



○構造の合理化 | 同一住戸の積層による合理化



○シンプルナーニング | 余分な仮設工事費を低減



【概算工事費】

区分	第1期	第2期・第3期	全体
建築工事費	799,050千円	1,176,000千円	1,975,050千円
設備工事費	308,400千円	461,000千円	769,400千円
外構等 (集会所等含む)	110,200千円	205,500千円	315,700千円
総工事費	1,217,650千円	1,842,500千円	3,060,150千円

■“コミュニティ” × “手入れ”の視点

ランニングコストの低減

○維持管理を踏まえた計画 | プレイスメイキングにより管理形態・方法を共有し計画に反映



○共用スペースの活用 | 外部スペースの活用収益を維持管理費に充当



地域に溶け込む団地づくり

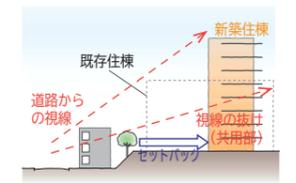
■余白を活かす住棟計画

周辺環境への配慮

○オープンスペースのネットワーク | 約200m以内のネットワークが地域にまとまり・ゆとりを創出



○ホリウムの圧迫感低減 | 建物のセットバックにより高台敷地からの圧迫感を低減



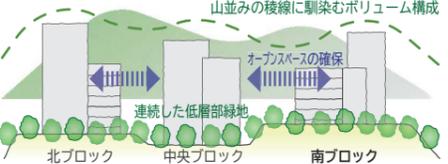
○日影の配慮 | 敷地境界外に4時間の日影が発生しない建物配置



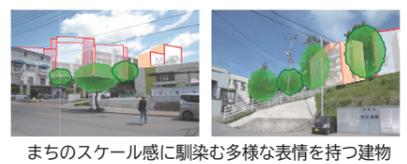
■豊かな自然とまちなみへの調和

まちなみに調和した景観形成

○北・中央ブロックとの一体感 | 山並みに呼応した既存住棟と一体的なボリューム



○表情豊かな建物ボリューム | まちに多様な表情を見せる分節した住棟



○熊野の自然を表出するファサード | 風になびく木々を想起するバルコニーデザイン

